

FUJIKUBO

ELEMENTARY SCHOOL

藤久保地域拠点
施設整備事業
—小学校—

コロナ等にも対応できる学習場所 学年スペースの設置



学年スペース

新たに建設される藤久保小学校では、各フロアごとに学年スペースを設けることが予定されています。新型コロナウイルスの感染などにより、学習や行事の開催がままならないことも想定される中、学年スペースの利活用が子どもたちの学習や活動の広がりにつながることを期待されます。

※写真は先進事例地のものであり、実際の完成図とは異なります。

町の教育の明るい未来へ 新しい発想で学校づくり

新型コロナウイルスの影響で学校の日常は大きく変わりましたが、従来の教育内容を見直し、前例踏襲の教育から新たな一歩を踏み出すよい機会となりました。進めている藤久保地域拠点施設整備事業の学校づくりも、学校、そして三芳町の教育が発展するチャンスだと考えています。地域の皆さんの新しい発想で、新しい教育活動を考えることが地域への還元につながります。コロナに打ち克ち、日常を取り戻した先には、三芳町の教育の明るい未来が待っているはずです。

藤久保小学校
佐藤 和秀 校長

充実した
学習環境！

きれいで
利用しやすい学校！

学校づくり = まちづくり。

地域で創る未来の藤小

藤久保地域拠点施設整備事業の基本理念である「未来創造拠点」の実現に向け、複合施設の隣に建設される藤久保小学校。子どもだけでなく、住民の夢が溢れる未来の学校を地域みんなで創りあげていきませんか。

問 施設マネジメント課 内455

りなど、伝統文化や歴史を大切に受け継いできた地域です。そこに新しい世代が加わり「共存」と「融合」によって、新たなコミュニティが生まれてきました。
改築される学校も、そこへ通う児童や保護者の意見・アイデアに、町の皆さんが考える学校への関わり方を「融合」させることで、新しい町のモデル校が生まれるのではないのでしょうか。
学校づくりはまちづくり。子どもだけでなく、住民の夢が溢れる未来の学校を地域のみんで創りあげていきませんか。

新たな町のモデル校に

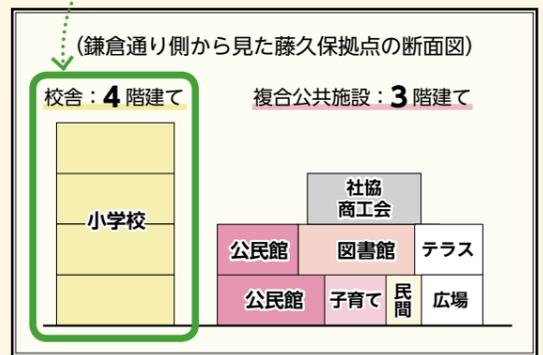
藤久保はお囃子や神社のお祭

老

朽化や人口減少、少子高齢化を見据え、小学校と

公共施設を複合化する「藤久保地域拠点施設整備事業」。新しい小学校は「子どもと地域が盛んに交流する場」としての機能を強化し、地域全体に夢を与える学校になることが期待されます。複合施設に隣接するため、学校は図書館や公民館と連携した授業がしやすくなります。一方、施設利用者は子どもとふれ合う機会が増加。活動の充実、地域の活性化にもつながります。

今月号はここのお話です。



※図はモデルプランです。実際の完成図とは異なります。